

蒲生干潟の地形調査100 2024年10月1日

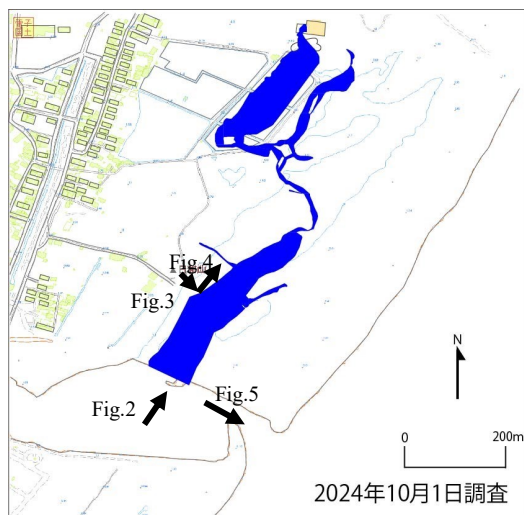


Fig.1 GPS 簡易測量結果



Fig.2 潟湖全体の様子 (南側からドローン撮影)



Fig.3 日和山付近から見た潟湖の様子① (左：13時頃、右：14時頃)



Fig.4 日和山付近から見た潟湖の様子② (左：13時頃、右：14時頃)



Fig.5 七北田川河口右岸砂州 (ドローン撮影)

調査日 2024年10月1日 (火) 13:00~14:00 ※干潮時刻8:56 (潮位46cm) 満潮時刻15:17 (潮位142cm)

Fig.1は、GPS簡易測量による10月1日の汀線である。今回の調査では、調査を開始した13時頃から1時間で満潮に向けて水量が急激に増える様子が見られた (Fig.3,4)。Fig3の左右の赤い○印は、同じ石を示している。また、Fig4の青い点線は、汀線を示している。潟湖最北部の潟湖は、今回の調査でも出現していた。七北田川河口付近では、右岸砂州が大きく張り出し、左岸の砂の堆積は確認できなかった (Fig.5)。

(門脇 駿)